

廿日市市の環境

【第39集】

(令和7年度廿日市市環境年次報告書)



ハッチョウトンボ（おおの自然観察の森）

左：メス 右：オス

令和7年12月

廿日市市

～海と緑と人が育む環境創造都市はつかいち～

本書は、令和2年3月に策定した「第2次廿日市市環境基本計画」に基づく環境の保全に関する施策の実施状況と本市の環境に関する各種のデータを報告するものです。原則、令和6年度の実績に基づき掲載していますが、発行時点で公表前の一部データは、令和5年度のデータを掲載しています。

廿日市市環境都市宣言

私たちのまち廿日市市は、海や山、川など恵まれた自然をもつまちです。

豊かな緑と清らかな水を育む山々。穏やかで美しい瀬戸の海、そこに浮かぶ厳島神社は、悠久の時を越えて現在に至っています。

これらの自然や歴史・文化を守り、次の世代に引き渡すことは、私たちの責務です。

私たち廿日市市民は、自然への思いやりをもち「海と緑と人が育む環境創造都市はつかいち」の実現にむけて取り組むことを、ここに宣言します。

○美しく豊かな自然を愛し、自然と共生した潤いのあるまちをつくります。

○資源とエネルギーを大切にし、健康で安心して暮らせるまちをつくります。

○ふるさとに愛着と誇りをもち、快適で魅力に満ちた住みよいまちをつくり
ます。

○地球に暮らす一員としての自覚をもち、持続可能な循環型のまちをつくり
ます。

○人と自然を思いやる心を育み、環境を守るために自ら行動するまちをつく
ります。

廿日市市



廿日市市「ゼロカーボンシティ」宣言

「海と緑と人が育む環境創造都市はつかいち」の実現に向けて

2020（令和2）年10月、政府は2050年までに
温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「2050年
カーボンニュートラル」を目指すことを表明しました。

廿日市市は、環境基本計画の将来像「海と緑と人が育む
環境創造都市はつかいち」の実現に向け、市民、事業者、
行政の「オールはつかいち」で、「2050年カーボンニ
ュートラル」を目指す「ゼロカーボンシティ」に挑戦する
ことを力強く宣言します。

2022（令和4）年6月9日

廿日市市長 松本太郎

目 次

本 編

I 廿日市市の概要

1	位置及び地勢	1
2	地質	2
3	気候	2
4	人口・世帯数の推移	3
5	土地利用	3
6	産業別就業人口	4

II 環境基本計画の推進

1	第2次廿日市市環境基本計画の概要	5
(1)	計画策定の趣旨	5
(2)	計画の位置づけ	5
(3)	計画の期間	5
(4)	計画の対象	5
(5)	環境の将来像	5
(6)	基本目標と基本的施策	6
(7)	重点的施策	6
2	第2次廿日市市環境基本計画に基づく取組の状況	7
(1)	自然環境	7
(2)	生活環境	9
(3)	地球環境	14
(4)	環境活動	19

III 自然環境

1	自然環境の概要	23
2	自然公園及び自然環境保全地域等	24
3	天然記念物	26
4	本市に生息する貴重な野生生物	27

IV 大気

1	大気汚染の概要	29
2	大気汚染の現状	29
(1)	二酸化硫黄	33
(2)	二酸化窒素	34
(3)	浮遊粒子状物質	34
(4)	降下ばいじん	35
(5)	微小粒子状物質(PM _{2.5})	36

V 水質

1	水質汚濁の概要	37
2	水質汚濁の現状	37
(1)	河川の現状	42
(2)	海域の現状	48

VI 騒音・振動

1 騒音の概要	4 9
2 振動の概要	5 0
3 騒音の現状	5 0
(1) 24時間調査	5 5
(2) 騒音マップ調査	5 5
(3) 航空機騒音の実態	5 6

VII 化学物質関係

1 ダイオキシン類の概要	5 7
2 ダイオキシン類の現状	5 7

VIII 悪臭・廃棄物・生活排水・公害苦情

1 悪臭	6 3
2 廃棄物	6 5
(1) ごみ（固形状廃棄物）の処理	6 5
(2) し尿	6 6
3 生活排水	6 7
4 公害苦情	6 8

IX 地球温暖化

1 地球温暖化の概要	6 9
2 廿日市市の現状	6 9
3 廿日市市の取り組み	7 1

資 料 編

I 環境指標	7 3
II 大気関係	7 5
III 水質関係	7 9
IV 騒音・振動関係	9 9
V 化学物質関係	1 1 3
VI 用語解説	1 1 8